

KŌYA

JIMYOIN

小坂坊

持明院

## ■年中行事

1月	奥ノ院修正会 金堂修正会 大塔修正会	1.2.3日…〈灯笼堂〉 1.2.3日…〈金堂〉 5日…〈大塔〉
2月	常楽会(涅槃会) 法印転衣式	15日…〈金剛峯寺〉 22日以後3月15日迄…〈金剛峯寺〉
3月	御衣加持 奥ノ院正御影供 御影堂正御影供 春季彼岸会	17日…〈宝亀院〉 旧21日…〈灯笼堂〉 旧21日…〈御影堂〉 彼岸中日前後三日間…〈金堂〉
4月	仏生会(灌仏会) 大曼荼羅供 奥ノ院万灯会	8日…〈金剛峯寺〉 10日…〈金堂〉 21日…〈灯笼堂〉
5月	山王院夏祈 山王院豎精 結縁灌頂	旧1.2日…〈山王院〉 旧3日…〈山王院〉 3日より5日間…〈金堂〉
6月	内談議 山王院御最勝講 宗祖誕生会(青葉祭)	旧9.10日…〈金剛峯寺〉 旧10.11日…〈山王院〉 15日…〈大師教会〉

7月	陀羅尼会	1日…〈准胝堂〉
8月	不断経 孟蘭盆会 大塔御国忌 勸学会	7日より7日間…〈金堂〉 13日より3日間…〈金剛峯寺〉 16日…〈大塔〉 旧21日より10日間…〈勸学院〉
9月	勸学院翌日間講 勸学院登堂出仕一臈事 豎精明神奉送迎 秋季彼岸会	旧1日…〈勸学院〉 旧2日…〈勸学院〉 旧3日…〈勸学院〉 彼岸中日前後3日間…〈金堂〉
10月	明神社秋季祭典 奥ノ院諡号奉讃会	16日…〈山王院〉 27日…〈灯笼堂〉
12月	御影堂煤払	28日…〈御影堂〉

## ■月例法会

月並問講	19日…〈御影堂〉
御影堂 月並御影供	21日…〈御影堂〉
奥之院 月並御影供	21日…〈灯笼堂〉
御影供御法楽	21日…〈大師教会〉
門徒行法	16日…〈山王院〉
月並問講	16日…〈山王院〉
月並御法楽	15日…〈金剛峯寺〉
月並御法楽	8日…〈靈宝館〉



▲大伽藍

## ■高野山の略史

高野山は紀の国、紀の川の南方海拔1,000mの山上にあり、周囲を八葉蓮華になぞらえた峰々に囲まれ、東西6km、南北3kmの一大仏都です。1150余年前、弘法大師が唐より帰朝後、真言密教の道場として開山に着手されました。これが高野山金剛峯寺の創めです。徳川時代の正保の頃には、大小2,000に余る寺坊が廂を並べたが、明治維新に際し寺領及び外山の森林等すべて国家に奉還、現在は千年を越す歴史を秘め老杉古榎に囲まれて建つ堂塔伽藍と10万基を越すといわれる奥の院の墓石と供養碑群のほか、120余ヶ寺がありこれを主体に1,000戸の商家と4,000の人口が住み、全国でも稀にみる境内街を形成しております。



### ▲御廟

承和2年(835)3月21日、弘法大師は大日如来の定印を結び真言を念誦されつつ現身のまま金剛定に入られたのである。弟子達のご定身を浄窟におさめその上に御廟を建立した。海外を含めての1千万信者はこの御廟を入定留身の聖壇として絶対の尊信を捧げ、灯明と香煙は絶えることがない。



### ▲水向地藏

玉川の清流を背にして地藏菩薩、不動明王、観音菩薩像が祀られ、参拝者は経木や水塔婆を供え水を手向けて肉身の菩提を弔う。



### ▲奥の院



### ▲柳の間

豊臣秀次自刃の間として有名、襖の絵は狩野探斎の筆で四季の柳が描かれている。



### ▲総本山金剛峯寺

弘法大師が「金剛峯寺」と命名したのは「金剛峯楼閣一切瑜伽瑜祇経」よりとったもので高野山の総称である。高野山真言宗4,000ヶ寺、信徒1千万の総本山で、もと太閤秀吉が母の菩提のため建立されたものである。



#### ▲御影堂

宝形造り木造檜皮葺7間四面の優美な建造物で、真如親王御筆による弘法大師御尊影(秘仏)が奉安されている。弘化4年の再建。

#### ▼大門

宝永2年(1705)の再建。遠く紀淡海峡、熊野連峯等を望み、我が国山岳仏教の代表的な建築物として有名、両脇の金剛力士は法橋運長の作である。



## ●車ご利用の場合

大阪からは、国道26号(堺)・310号・170号・24号経由で九度山より高野山ドライブウエーで山上へ



### ▲ケーブル

南海電車極楽橋より山上に至る延長約0.8キロ。急勾配を匍うように登る窓外に映る幽邃の美は絶佳、所要時間は5分間で日本有数の長距離ケーブルカーである。



### ▲高野山道路

昭和35年7月、日本道路公団によって完成。山麓九度山より終点の山上大門に至る約17キロの間深山幽谷に心を澄まされると思えば、登るに従い遠く紀伊・生駒連峰が展けて来る。風景絶佳のドライブウエーである。



### ▲極楽橋

高野旧登山7口の一つ京街道不動口、現在の南海電車極楽橋駅辺にあり、昔はここより山駕や強力の手を借りて登山した。木造朱塗りの色彩は深山幽谷に映えて美しい。



### ▲町石道

山麓九度山慈尊院より山上伽藍大塔に至る旧登山道に180基(胎蔵界)、大塔より奥之院まで37基(金剛界)の仏の姿になぞらえた高さ3米の石標が1町(約110米)毎に建てられている。昔の人々が信仰の証と道標として22年の歳月を経て弘安8年完成した。



### ◀ 霊宝館

金剛峯寺をはじめ、山内各寺院の国宝・重要文化財の仏像・仏具・絵画・書籍等が保存されて一般の観覧に供している。宇治平等院を模した優美な建物で大正10年の建立。



### ◀ 女人堂

高野山は明治5年禁が解かれるまでは女子の入山は許されなかったため、各々山内7カ所に参籠所が設けられていた。現在残っているのは、不動坂口(南海バス女人堂駅前)唯一つである。





### ◀ 一番石碑

秀忠の二男駿河大納言忠長が母堂(淀君の妹)追善のため建立、高さ10米、台石の広さは8畳敷。高野山の石碑中最大「一番石塔」と呼ばれている。



### ◀ 徳川家霊台(重要文化財)

寛永20年(1643)徳川3代将軍家光によって建立、一重宝形造りの建物2棟が並んでいる。右が家康霊屋、左が秀忠霊屋である。



浅井長政夫人お市の方（当院所蔵）

## 持明院の縁起

鳥羽天皇の保安年間に持明房真誉大徳の開基でその字を取って寺名とし、特に持流一派の本山として850年、法灯師資連綿として今日に至っております。

本尊は延命地藏菩薩で古来より伊達家、武田家、土屋家京極家、木村家等の大壇主を始め壇信各家祖先の霊牌を安置して、例時の供養に二世の勝縁を祈願して居ります。現在の建物は明治43年祝融の災以後のもので、境内6,600㎡(2,000坪)堂宇10数棟に及び数々の貴重な仏像仏画、経典を収蔵しております。





▲本堂



▲中庭園



▲山門

◀ 森蘊先生作庭 (八葉蓮華の前庭)

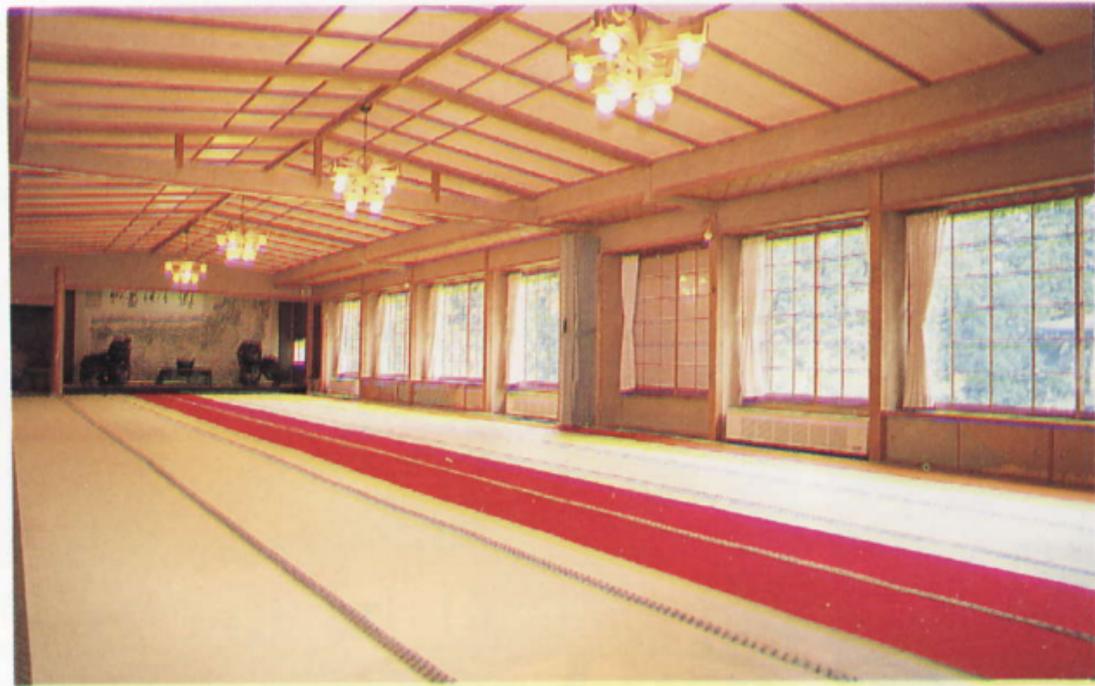


### ▲料理

弘法大師が中国より持ち帰った精進料理が代々僧坊の中で磨かれ工夫され、今日の精進料理となりました。野菜・海藻・穀物だけを材料に、その持ち味を生かしながらも色のとり合せ、季節感と心をくだき調理されています。四季色々の姿をみせる庭園を眺めながら、静かな御座敷で御賞味下さい。



### ▲客室



▲大広間



▲庭園

## ■案内所

東北案内所	三伸会東北フロント	TEL (022) 241-8174 FAX (022) 241-1255
関東案内所	大宮総合リザーブセンター	TEL (0486) 86-1331 FAX (0486) 84-3980
名古屋案内所	レスト・ガイド	TEL (052) 762-3011 FAX (052) 763-5225
京都案内所	京都食堂センター	TEL (075) 343-0466 FAX (075) 343-0238
京都案内所	なにわ会京都営業所	TEL (075) 531-0295 FAX (075) 531-0296
大阪案内所	なにわ会大阪事務所	TEL (06) 692-6581~4 FAX (06) 606-7207
兵庫案内所	なにわ会兵庫営業所	TEL (078) 371-6601~3 FAX (078) 371-6055
香川案内所	四国高松共栄会	TEL (0878) 51-6881 FAX (0878) 51-6882



☐☐ 小坂坊 持明院

MONASTERY JIMYOIN <KOSAKABO>

TEL高野局 (0736) 56-2221 ~ 3

FAX高野局 (0736) 56-3809

大阪別院 TEL(06) 961-4789

仙台別院 TEL(0222) 57-4010

名古屋別院 TEL(052) 481-2983

